

2020年度 日本工学院八王子専門学校

柔道整復科

ほねと筋肉 2

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	有山 敦士			実務 経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

体の各部位について幼児や老人にも理解しやすく説明できる知識を学びます。

到達目標

全身の骨格、筋の構造を三次元的に理解し、骨と骨との連結（関節）の構造と機能、それらが構成する運動器の全体構造とそれらの立体的な構成、骨格筋の起始、停止、支配神経および作用を理解し説明できるようにする。また、骨の生理的機能や筋の生理的機能を理解し、柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになることを到達目標とする。

授業方法

全身の運動器について、骨構造、骨格筋の配置、起始、停止、作用を正確に理解し、関節がどのような構造を持ちどのような作用があるのかを具体的に理解できるよう、授業を進める。併せて骨格筋の支配神経、関節機能の調節機構について理解を深める。

成績評価方法

定期試験による評価

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

医歯薬出版 解剖学 改訂第2版－社団法人 全国柔道整復学校協会 監修－に準拠する。

回数	授業計画
第1回	頭部の骨
第2回	上肢の骨1
第3回	上肢の骨2

第4回	体幹の骨
第5回	下肢の骨1
第6回	下肢の骨2
第7回	前半の振り返り
第8回	骨格筋【総論】
第9回	頭部の筋
第10回	上肢の筋1
第11回	上肢の筋2
第12回	体幹の筋
第13回	下肢の筋1
第14回	下肢の筋2
第15回	後半の振りかえり